

Title	編集後記
Sub Title	
Author	斎藤, 英雄(Saito, Hideo)
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2014
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.1, No.1 (2014. 3) ,p.49- 49
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000001-0049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

斎藤英雄（慶應義塾大学 DMC 研究センター副所長 理工学部教授）

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（DMC 研究機構）から、2010 年度に、現在の形である慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター（DMC 研究センター）に生まれ変わってから、4 年が経ちました。そして、今、ようやく、「紀要」の発行ができることになりました。この創刊号は、これまでの 4 年間の DMC 研究センターの活動の成果の代表的なものを紹介したものになっています。

この創刊号が発行できたのは、特集記事や論文を執筆した研究者たちの多大なる尽力によるところが大きいのは言うまでもありませんが、研究者たちの研究活動を日ごろから理解し、意見を調整し、研究環境の整備に尽力している事務長の村上篤太郎さんを始めとする事務スタッフの献身的なサポートが無くしては決して実現しなかったと思います。紀要全体の原稿やデータを取りまとめ、編集作業を担当した職員の鈴木秀樹さん、松岡 史さんには、創刊までのタイトなスケジュールの中、的確なスケジュール管理のもと、創刊に漕ぎつけてくださったことに大いに感謝しています。

さて、この紀要の創刊については、DMC 研究センターのスタート時から 2013 年 10 月まで DMC 研究活動をサポートしてくださった元事務長の高野祥一さんが創刊のための準備を始める号令をかけたところから始まっています。DMC としての研究活動内容を模索している状態であった 2010 年のスタート当時から、高野さんが 2013 年 5 月まで職員として DMC に貢献されてきた平岡明子さんらとともに、DMC の研究者や技術スタッフの研究活動を円滑に行えるような環境作りに尽力して進めてきた活動の成果が、今回の創刊号に収められています。最後に、DMC を卒業された高野さん、平岡さんに感謝の意を示して、編集後記としたいと思います。